

プラスチック化学リサイクル研究会ニュース No.3

Research Association for Feedstock Recycling of Plastics, Japan

プラスチック化学リサイクル研究会平成 11 年度総会

平成 11 年 5 月 21 日(金)、中央大学駿河台記念館(東京都千代田区神田駿河台 3-11-5)において平成 11 年度総会が開かれ、(1)平成 10 年度事業報告、(2)平成 10 年度会計報告、(3)平成 11 年度事業計画、(4)平成 11 年度予算について報告・了承された。

平成 10 年度事業報告としては 7 月 27 日の平成 10 年度総会と後援会(東京理科大学記念講堂)、10 月 7 日 SFRJ ニュースレター No.1 発行、11 月 25、26 日第 1 回討論会(岡山大学、発表件数 51 件、参加者数 173 名)、12 月プラスピア(プラスチック処理促進協会広報誌)発送、平成 11 年 3 月 SFRJ ホームページ公開、会員研究活動情報の収集、プラスピア 105 発送、4 月 10 日 SFRJ ニュースレター No.2 発行(180 部)について報告された。また、平成 10 年度会計報告が承認された。

平成 11 年度事業計画は 5 月にプラスピア 106 発送、5 月 21 日総会、後援会、10 月にニュースレター No.3 の発行、10 月 31 日—11 月 3 日国際会議(仙

台)、11 月 4 日新潟油化プラント施設見学会、平成 12 年 3 月ニュースレター No.4 発行、平成 12 年度総会と以上の事項について実施あるいは予定されている。また、研究会予算案が報告され、承認を受けた。現幹事に加えて関根泰(東京大学大学院工学研究科)、松本佳久(神奈川県産業技術総合研究所)、船造俊孝(中央大学理工学部)の 3 氏が選出され、平成 11 年度新幹事として加わった。

仙台での国際会議について会場施設、プログラム、予算見積り等、国際会議運営上の現状報告があり、詳細について打ち合わせが行われた。総会終了後、記念行事として、東京大学大学院工学研究科 藤本薫教授による「石油製品としてのプラスチック分解油」、三菱化学、新居宏美氏による「塩ビ工業・環境協会のリサイクルへの取り組み」の 2 件の講演が行われた。聴衆の高い関心のある時期を得たテーマであった。引き続き記念館 1 階のレストランで懇親会が開かれ、会員相互の親睦を深め、盛況のうちに終了した。

プラスチック化学リサイクル研究会平成 10 年度会計報告

<<収入の部>>

平成 11 年 3 月 31 日現在

<<支出の部>>

科目	予算	金額	備考
年会費(法人)	800,000	1,000,000	19 団体、20 口分
年会費(個人)	196,500	306,000	109 名分、内学生 14 人
雑収入	0	15,000	要旨集等
銀行利息	0	34	
前年度繰越金	0	0	
合計	996,500	1,321,034	

科目	予算	金額	備考
総会経費	200,000	60,722	設立総会、第 1 回総会会場費
第 1 回討論会費		200,000	国際会議費に振替
講演会経費		39,504	第 1 回講演会会場費
資料作成費		40,000	第 1 回総会・講演会資料費